



外国人の悩みを起業で解決する 54時間の挑戦

～Startup Weekend Shiga が取り組んだ多文化共生～

滋賀県観光交流局国際室 筈井 淳平

イベントを企画した経緯

滋賀県をはじめ、全国で取り組まれている「多文化共生の地域づくり」は、国際というテーマに限らず、福祉やジェンダー、働きかたなど、「多様な価値観の受容」という観点で本来誰しもが共有しあえるテーマです。そこで滋賀県国際室が新たに挑戦したのは、これまで多文化共生という言葉を知らなかった人たちが主体的に関わっていける仕掛けづくりでした。

そんな折、滋賀県出身者などで構成される任意団体「Startup Weekend Shiga 実行委員会」*と出会う機会がありました。彼らは滋賀でより多くの起業を促そうと、週末2泊3日でスタートアップビジネスを立ち上げるイベント「Startup Weekend Shiga」を県内で不定期に開催しています。そんな彼らとお互いの活動を語り合ったところ、次回のイベントに「社会起業・多文化共生」という要素を盛り込んでもらえることになり、そこに滋賀県などが共催という形で参画することで、今回の企画が始まりました。

会場も、県内各地をまわった結果、長浜市にあるコミュニティハウス「長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス（GEO）」で開催できることになり、長浜市や、市



会場となった長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス(GEO)



各チームでの取り組みの様子

内で創業支援に取り組む「バイオビジネス創出研究会」とも共催できることになりました。

思いが強いだけでは サービスは成り立たない

平成27年11月20日（金）、31名の社会人や学生が集まりました。「自分の持っているスキルがビジネスで通用するか試したい」「色んな人たちから刺激を受けたい」などといった思いをもって参加された彼らの職業は、中小企業診断士、社会福祉法人職員、コワーキングスペース運営事業者、観光事業者、デザイナー、ウェブエンジニア、学生、などなど……。多文化共生というテーマにもかかわらず、さまざまな動機を持った方が、「外国にルーツを持つ人々と一緒につくりあげるサービス」に取り組むことになりました。

1日目は、初めて出会った参加者同士が事前に考えてきたアイデアを共有するところからスタートしました。アイデアに共鳴した人同士でチームをつくり、そのチームがアイデアを具体的なビジネスにすべく、顧客の声を聞きながら、実用最小限のサービスを創り出します。今回は7つのアイデアに対してチームが構築され、最終的に6つのチームで進めていくことになりました。



そしてこのイベントでは、長浜に住む外国にルーツをもつ方をゲストに招き、意見交換を行う時間を設けたり、2日目には起業や多文化共生などの分野で活躍する方をコーチとして招き、自分の経験をもとに参加者にアドバイスしてくれる「コーチセッション」を実施。中には会場の外に飛び出して、市街地を観察しながらサービスの検証を行うチームも現れました。

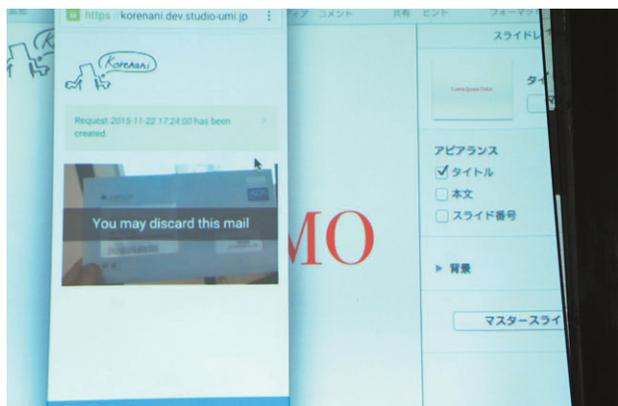
チームが考えている顧客のイメージに乖離がないか？この方向性に果たして収益性が見込めるのか？思いが強いだけではサービスは成り立ちません。仮説と検証を繰り返し、都度軌道修正を行うプロセスこそが、サービスを創り上げる上で重要なのです。

サービスの完成と、その後

そうして生まれたのは、オンライン動画配信システムを活用した外国人向け教育支援サービスや、チラシの特売情報を母国語で案内するアプリ、オンラインコンシェルジュサービス、在住外国人による長浜市内のガイドツアーサービス、地域特化型レシピ共有サービスなど、個性的なサービスでした。それらを最終日となった3日目の夕方、「最終プレゼン」で披露しあいました。

ちなみに最終プレゼンで優勝したチームが考えたのは「外国人が受け取った郵便物をスマホで撮影すると、文字認識などによってその中身を教えてくれる」というサービス。将来展開性や、すぐにでも事業を行えそう等といった点が評価されました。

しかし重要なのは優勝することではなく、ここで知り合い、志を共有した仲間と、その後どうするかです。いくつかのチームはその後もミーティングを重ね、サービスの本格立ち上げに向けて進めているとのこと。滋賀県



サービスデモまで作ったチームも（写真は優勝チーム）

内にはそういった活動に対して創業支援を行うさまざまな枠組みがあるので、それらの事業を紹介したり、参加者との交流を続けることで、引き続き滋賀県として彼らの活動を応援していきたいと考えています。

今回参加した31名の大半は「多文化共生」という言葉を知らなかったそうですが、彼らのもつ関心事に「多文化共生」の考え方を盛り込むことで、結果的に多文化共生につながるサービスが創発的に生まれていったのだと思います。



Startup Weekend Shiga 参加者の集合写真

起業という切り口に限らずさまざまな視点から、より多くの人々と多文化共生を推進できる仕掛けづくりを、今後も実施していきます。

※ Startup Weekend…本拠地をアメリカシアトルに置くNPO法人 UP Global が主宰する、世界的な起業家育成プログラムです。これまで世界中で100か国以上、日本の各地域を含む700都市以上で開催されており、各地域の実行委員がそれぞれ主体的に「Startup Weekend」を開催しています。滋賀県内での開催は2014年から始まり、今回で3回目を迎えました。

当日の様子などイベントの詳細は、下記URLをご覧ください。
<http://swshiga.jp/2015nagahama/>